



物語から駅看板ができるまで

元住吉駅の東口エレベーターには、陽光学院の駅看板があります。右のイラストは新しく掲出する看板のためにプロのイラストレーターさんに描いてもらつたもの。僕らが看板をつくるさいに大切にしているのは、「どんな想いを込めるか」を、しっかり共有することです。

そのため、イラストレーターさんやデザイナーさんには、完成イメージを物語のような文章にしてお伝えしています。今回は次のような情景をイメージして製作をお願いしました。



今日は一人娘の合格発表。朝食をつくっているときも、洗濯物を干しているときも、頭の中は数時間後のことでいっぱいだ。

彼女がこの一年、どれだけ努力してきたかを私は一番近くで見てきた。冬の夜、温かいココアを持って部屋をのぞくと、鉛筆の音がトントンと響いていた。友達と遊びたい日もあつただろう。テレビだってゲームだって、もっと楽しみたかったはず。

それでも彼女は「今はがまん！」と笑っていた。そうやって毎日、こつこつ机に向かっていた。だからこそ、今日という日が怖くもあり、誇らしくもある。いよいよ、その努力の答えを知るときだ。

パソコンの前には娘と私、そして夫。誰も何も言わない。エアコンの音が、やけに大きい。画面には「合格発表」の文字。娘の指先がかすかに震えているのが見えた。

「……いい？」娘の声に、私はうなずくことしかできなかった。祈るような気持ちで、ぎゅっと両手を握る。さあ、勝負のときだ。どうか彼女に、ふさわしい結果を——娘が「合格発表」のボタンを押した。

合格発表直前の張りつめた時間。そして、その後に訪れる歓声も、涙も、笑顔も、すべてが受験におけるかけがえのない瞬間です。合格はもちろんゴールではないけれど、この瞬間の記憶はその子の人生を支えてくれるに違いない。

そう思いながらつくった新しい駅看板は、12/24(水)のクリスマスイブに掲出となります。元住吉駅の下りエレベーターを利用するさいは、少しだけ目線を上げてご覧いただけたら幸いです。(菅野)



飛鳥ニュース



● 「飛鳥：2月新年度開講について」

飛鳥では「4年間で中学受験に挑む」ことを前提にカリキュラムを構成しています。2月から新たに開講する新3年生クラスの一年間は、学習の土台を固めるだけでなく、中学受験でつまずきやすいポイントを早い段階で解消し、自ら学ぶ姿勢を育てる大切な期間です。いわば、これから大きく伸びていくための準備を整える一年と言えます。もちろん、習い事やご家庭の事情によってスタートのタイミングは異なります。しかし中学受験をするかどうか、どの塾で学ぶかといった選択は、早めに考えるほど可能性が広がります。弟さん・妹さんの受験を検討されているご家庭はもちろん、「まずは話だけ聞いてみたい」という方も歓迎です。ぜひ一度、学習相談にお越しください。メールや電話でご連絡いただけますと幸いです。



今月の本棚 ~Monthly Book List~



『税金で買った本 1~17※以下続刊』

株ずいの／原作 系山間／漫画（講談社 792円）

～内容紹介（出版社Webサイトより）～

小学生ぶりに図書館を訪れたヤンキー石平くん。10年前に借りた本を失くしていたことをきっかけに、あれよあれよとアルバイトすることに！借りた本を破ってしまった時は？難しい漢字の読み方を調べたい時は？ルールに厳しくも図書を愛してやまない仲間と贈る、読むと図書館に行きたくなる図書館お仕事漫画、誕生です！

小・中学生のころは地域の図書館に、高校に進学してからは桜木町の中央図書館に通っていました。小説やエッセイ、ノンフィクションなど読みたい本を読みたいだけ読める環境があったからこそ、今こうして塾の仕事を続けられていると感じます。図書館がなければ、読書の面白さや自分の興味の広げ方を知ることはなかったでしょうから。

今回の『税金で買った本』は、図書館で働く人たちや、そこを利用する人たちの姿を通して図書館の日常がどうやって支えられているのかを丁寧に描いた作品です。

破れてしまった本を丁寧に直す人、返却さ

れた大量の本を一冊ずつ棚に戻す人、寄贈された本を次の読み手へとつなぐ人。そうした仕事の積み重ねによって、私たちは今日も気持ちよく本を手に取ることができます。図書館はただ「本が置いてある場所」ではなく、たくさんの人の思いと働きによって守られている場だとあらためて気づかれます。

図書館でアルバイトを始めた高校生の石平くんと個性豊かな図書館スタッフのやりとりを通して、くすっと笑いながら図書館の仕組みや裏側が学べる一冊。陽光ライブラリーにも入っていますので、ぜひ手にとってみてくださいね。（菅野）

中学受験コース：飛鳥（小3～小6）

**▼3年生 「算数の文章題」**

3年生の最後となるコンクールを12月18日(木)に実施します。前回の経験を活かしてテスト準備を早めに開始した生徒もいます。練習ではしっかり間違い直しをしてテストに備えましょう。飛鳥ではコンクールの学習を通じて学習意欲も高めていきます。算数の授業ではテキスト下巻に入り、文章を数式にして解く受験算数らしい問題が増えました。授業ではただ説明を聞くだけでなく、手を動かして自分で考えながら解くようにしています。もちろん一度の授業で理解しきれなくても問題ありません。繰り返し問題を解いて力をつけていきます。冬期講習ではいつも以上に問題演習の時間を多く取ります。たくさん解いて算数の楽しさに触れていきましょう。（池田）

▼4年生 「冬期講習のねらい」

あと2ヶ月で5年生クラスへ進級します。これまで学習の土台を築いてきましたが、5年生からは中学受験を意識した「1週間の学習サイクル」や「年間計画」の段階に入ります。定例テストや外部模試によって勉強量が増えるだけでなく、学習のモチベーションも影響をうけやすくなります。ということで4年生の冬期講習は5年生への移行をスムーズにする大切な期間です。国語は長文読解、算数は公式の使い方、理科と社会は基本用語の理解と暗記など、各教科で5年生につながる内容を授業と宿題に組み込み、ステップアップをめざしていきます。体調管理をしっかりと行いながら、これまで通り前向きな気持ちで取り組んでいきましょう。（池田）

▼5年生 「冬期講習について」

予習シリーズ5年下が修了すると、算理とともに全単元をひと通り学習したことになります。冬期講習では、これまで学んだ内容の総復習と総合演習を組み合わせて進めていきます。

算数では「比」をつかった最重要単元を扱います。1日目は解説と演習、2日目に確認テストを行い、2日で1単元ずつ仕上げていきます。理科は夏期同様に「理ポチテスト」を実施します。宿題として毎日練習を進めていきますが、すでに一度学んだ内容なので無理なく取り組めるはずです。またAレベル問題集を使って、5年下の総復習も行います。5年生で学んだ内容を少しでも積み上げられるよう、冬期講習も全力で取り組んでいきましょう。（山崎）

▼6年生 「過去問演習で合格を掴む」

飛鳥は過去問について「塾でのテスト形式」にこだわっています。志望校の過去問に向き合う時間こそ、もっとも集中力が高まり、真剣になれる瞬間です。その価値を最大化するには、緊張感のある環境が欠かせません。あと数点届かず悔しい思いをしたり、チャレンジ校で手応えを感じたり——こうした経験が勉強への意欲を大きく引き上げます。演習後は必ず解き直しと振り返りを行うことで、過去問を徹底的に活用していきます。

この時期に不安を抱くのは自然なこと。そんな時は過去問の結果を見返してみてください。確実に点数が伸びています。今できるのは志望校に向けて最善の努力を積み重ねるだけです。自分の未来は自分で切り拓くもの。残り1ヶ月半、悔いのない挑戦をしていきましょう。（池田）

高校受験コース：ヘリオス小学部（小2～小6）



1. 冬期講習（小2～小6）

■ 期間……12/23（火）～1/6（火）

冬期期間中は日程や時間割が通常と異なるため、漢字テストや算数ドリルのスケジュールも普段とは変わります。授業日が連続する分、宿題チェック表を活用した課題の管理がより大切になります。必ず帰宅前に確認する習慣をつけましょう。※授業日程・時間割は同封の「25年度冬期講習 時間割」をご確認ください。



2. 冬期講習中の陽光ライブラリーについて

「授業がない日でも本を借りに来いいですか？」という質問がありました。塾が開いている日はライブラリーを利用できます。通常は日曜日や祝日が閉室日ですが、冬期講習中は授業日が変則的になっていますので、こちらも同封の時間割を確認してくださいね



岸のはなまるレポート～小5Lクラス編～

今月は小5Lクラスの様子をお伝えします。

10月の学力テスト、11月のコンクール、そして12月の学力テストと、テストが続き「忙しいです！」という生徒の声も聞かれました。

10月の学力テストを返却する際に、「次は何を勉強したいと思った？」と問いかけました。成績票には、国語や算数の単元ごとの結果が細かく記されています。テストの成績票は「できたこと・できなかったこと」を確認するだけでなく、「次に何を勉強すべきか」を教えてくれる大切な資料です。

「図形を頑張りたい」と自分で課題を決めた生徒

は、図形問題に取り組むときの目の色が変わりました。細かく質問をするようになり、自分にできること・できないことを丁寧に確認。安易に答えを求めるなくなるなど学ぶ姿勢に変化が見られます。

一方で「漢字やことばを頑張りたい」と話した生徒は、11月のコンクールのテーマである慣用句の暗記に、意欲的に取り組んでいました。

テストをきっかけに、勉強へのモチベーションが高まるというのは中学生に引けをとらない大きな成長だと思います。これからも、テストに前向きに取り組んでいきましょう。（岸）



今月の宿題：達成状況優秀者

※宿題達成率…完全に終わっていたら1、途中まで（丸付けが未など）なら0.5でカウント

高校受験コース：ヘリオス中学部（中1～中3）



1. 冬期講習（中1～中3）

■ 期間…12/23（火）～1/6（火）

中1・中2は後期期末テストの範囲、中3は入試演習を中心とした授業を進めます。冷え込みが厳しくなりました。寒さ対策として必要であればひざ掛け等も用意しましょう。特に中3生は長時間の授業が続きます。体調管理も受験対策の一環と思って取り組んでくださいね。

2. 学力テスト（中1・中2）

■ 日程…1/9（金）

結果に一喜一憂するだけでは模擬テストの意味がありません。学力テストは今後勉強の方針を定めるためのもの。私たちからも一人ひとりにアドバイスしますが、自分なりの考えをもつことも大切です。結果返却は1月末の予定です。



岸のはなまるレポート～中3クラス編～

今月は中3クラスの様子をお届けします。

12月になって一人ひとりの高校入試の形が大筋で固まりました。大きな悩みや迷いが一つ消え、これからは合格に向かって一直線に努力を重ねる時期です。

過去数年間の中3と比べても、今年のクラスは特に内申平均の高さが際立ちます。それは授業中の受け答えや所作、悩みや不安を抱え込みず、すぐに相談する姿勢などからもよく伝わってきます。

一方で家庭学習への取り組みについては二極化が見られます。「数学の名人」などの課題を継続的に

提出している仲間の姿を教室のなかで目にしているはずです。それにもかかわらず指摘されなければ提出しない子も残念ながらいます。

県全体で見ると川崎・横浜エリアはハイレベルな激戦区です。横浜平沼、新城、橘、生田、港北などを志望しながら、意識の低い日々を過ごしてしまえば、合格もその先の進学も危ぶまれます。勉強に対する心構えは、中学卒業までにほぼ完成します。高校入試は自分自身を正す最後のチャンスです。残り2か月、悔いのないように走り切りましょう。私たちも全力で応援します。（岸）



今月の単語テスト＆漢字テスト：合格率優秀者

舟形マッシュルーム (山形県) **My Favorite Things**

～塾長のお気に入り～



↑箱いっぱいに届いた舟形マッシュルーム。白さと張りが新鮮さの証です。(1800円/箱)

←完全無農薬の有機で栽培。収穫までの約9週間、コンピュータで24時間管理された環境で大切に育てられています。

先日、山形県にある「舟形マッシュルーム」さんの農場を訪問し、実際にハウスの中も見学させていただきました。そこで試食したとれたてのマッシュルームは濃い香りと味、サクサクとした食感が印象的で、これまで食べていたものとは別格のおいしさでした。

マッシュルームは唯一、生のまま食べられるキノコですが劣化が早く、傷みやすくもあります。代表の長澤さんにどうやって鮮度を保って出荷しているのか聞いてみたところ、「生産は15名のスタッフで、収穫と出荷は4倍の60名のスタッフで行っている」とのことでした。

有名レストランにも直接卸している品質の高いマッシュルームは個人でも取り寄せできます。届いたマッシュルームはスライスではなく大きめにカットしてお召し上がりください。きのこが苦手な子にも、ぜひ試してほしい味わいです。(菅野)

わが家はこうやって受験を乗り越えた!～「保護者様の声」ご紹介～



息子を「オニリーワン」として大切に育ててくれた先生方に心から感謝しています

大手塾では難しい一人ひとりの性格や特性にあわせた指導と、先生方との温かなコミュニケーションが息子にとって大きな支えになっていたようです。

息子は勉強が特別好きなタイプではありませんでしたが、「塾は楽しい!」と通い続け、学年が上がって通塾日数や学習量が増えて、嫌がることは一度もありませんでした。

受験当日の朝には「少し緊張したけれど、今はやる気の方が勝っている」と口にし、これまで積み重ねてきた努力が、確かな自信につながっていると感じました。

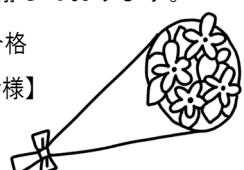
結果だけでなく、三年間を通して息子が前向きに努力を続け、達成感を味わえたこと自体が何よりの財産です。

時には厳しく叱り、時には寄り添いながら本気で向き合ってくださる先生方の姿勢に、親として何度も救われました。

息子を「オニリーワン」として大切に育ててくれた先生方に心から感謝しております。

【関東学院六浦・聖学院中学合格

Yくんの保護者様】



動画配信
レポート

岸&池田の 受験 Pick Up!

最新の学校情報や受験情報、勉強のコツなどを岸と池田が動画で解説！

▼中学受験レポート 「1月入試」



「1月入試」

- ◇1月入試とは何か
 - ・入試期間
 - 東京・神奈川は2月から
 - それ以外は12月から
 - ・お試し受験
 - 学校側も選択
 - 様々な形式
- ・通学圏内
 - 千葉埼玉の一部
 - 得点の学校と比較
- ・他県での寮生活
 - 関東は遠隔校も可認
 - 選択する価値は？

↑1月入試はいわゆる「お試し受験」と呼ばれるタイプの入試です。東京・神奈川以外の県では12月から試験が始まります。武蔵小杉駅を利用すれば、乗り換えなしで行ける学校も複数あり、通学先として選べるケースもあります。

「1月入試」

- ◇学校のご紹介
 - ・千葉埼玉以外
 - 早稲田佐野、佐久丘
 - 長崎日大、佐野日大
 - ・宮崎日大
 - 問題形式
 - 試験会場
- ・千葉
 - 光英ペリタス、日出
 - 千葉日大、国際台
- ・埼玉
 - 栄東、埼玉栄
 - 龍啓、龍谷所沢、

↑まずは千葉・埼玉以外の学校からご紹介します。都内などに入試会場を設置し、幅広い地域の受験生を受け入れている学校が多いのが特徴です。通学可能な学校もわずかながらレベル別に存在し、状況によっては非常に心強い選択肢となります。

【前回の中学受験レポート】

■「ハ雲学園中学校」 (21分50秒)

受験校を絞る際に注意したいのが「抑え校の選択」と「日程に生まれる空白」。つい後回しにしがちですが、実力を発揮するには早めの準備が欠かせません。ハ雲学園は飛鳥生からの人気が高く、第一志望に選ぶご家庭も増えている注目校です。最大の特徴は、長年続く独自の海外研修を軸とした英語教育。さらに学習環境や教育内容も充実しており、共学へ移行して8年が経ってもその魅力は受け継がれています。

▼高校受験レポート 「中3の内申」



中3の内申 陽光生データ

・中2の内申 ⇒ 中3の内申

過去4年間の陽光生平均

中2：約34 ⇒ 中3：約37

内申の伸び

技能4教科 > 主要5教科

↑中2後期から中3後期にかけて、内申が上がる生徒は多く見られます。ただし主要5教科は、技能教科に比べて伸びが小さい傾向があります。技能教科は中2の段階から授業態度や提出物でアピールできれば、周囲と差をつけるチャンスといえます。

中3の内申 5教科はなぜアップしない？

主要5教科の伸び悩みの要因

・中2の内申が高いから（高止まり）

中2後期 ⇒ 中3前期 ⇒ 中3後期

「3」 ⇒ 「4」 ⇒ 「4」

「4」 ⇒ 「4」 ⇒ 「4」

「4」 ⇒ 「5」 ⇒ 「5」

↑主要5教科は、中3前期から後期にかけては「頑張るのが当たり前」になるため、大きな差はつきにくくなります。だからこそ重要なのは「中3前期で、どれだけ最高のスタートを切れるか」です。ここにこだわることが、後期内申5への近道になります。

【前回の高校受験レポート】

■「高校入試面接」 (12分26秒)

現在、入試で面接が行われているのは私立の推薦入試や市立橘高校などのみ。とはいっても公立入試では面接点が開示されるため、結果に影響することも。最大の対策は、やはり練習。所作や話し方を磨き、自信をもって臨みましょう。また、「過去・現在・未来」を意識して、自分の努力や課題、将来の目標を整理することも大切です。志望校の特色を理解し、「なぜこの学校を選ぶのか」を明確にしておきましょう。

入試情報（私立中学）



駒込中学校

(東京文京区 共学校 東京メトロ南北線「本駒込駅」徒歩5分)

1682年に前身である勧学講院が設立。天台宗の教えである「一隅を照らす人間の育成」を建学の理念としています。クラスが国際先進コースになり、理数系、国際系、芸術系の教科を強化。AクラスとBクラスの習熟度別クラスに分かれます。A、Bの入れ替えは年度末に毎年行われます。駒込中的一日は午前8時25分からのSHR（朝テスト）から始まります。昼はクラス全員で給食を囲みます。希望制の特別講習や指名補習が放課後1時間。部活動も含め、午後5時30分には下校の準備を始めます。週6日制です。

▼駒込中学校を知るための3つのキーワード

- ◆【フォローアップ体制】…「学内の学習活動のみで進路実現への学習を完結したい」「学力の推移を把握している本校教員から指導を受けたい」そんな生徒の思いに応える授業外学習を実施しています。特別講演会、夏期講習会、指名補習、学習サポートシステム、スタディサプリ、個別指導など、多岐にわたり学校側がフォローアップしてくれます。生徒たちが安心感を得られる大きな強みになっています。
- ◆【STEAM教育】…日本の代表的なSTEAM教育研究機関である「埼玉大学 STEM 教育研究センター」との共同授業を実施。生徒たちはオリジナルキットとソフトを使ったプログラミングで、身近な課題を実践的に解決していきます。外部コンテストにも積極的に参加。「農業支援ロボット」を制作して全国大会に出場しました。1年生は「国際 STEM CAMP」というフィールドワークを通じて、海外の学生たちと共に被災地の課題を解決するロボットプログラミングにも取り組んでいます。
- ◆【人間教育】…中1の林間学校では農村体験をします。農家の指導のもと耕運機を動かし、作物を収穫します。中2での日光山研修では法話、座禅、行者道参拝、ボランティア活動などの修行を体験。10月には全校で校外学習の日が設けられています。中1は茨城自然博物館見学。中2は田植え体験。中3は鎌倉探索を行います。

今年度の大学実績は、国公立大26名、早慶上理90名、GMARCH277名などです。（山崎）

▼学校情報

- ◇TEL: 03-3828-4141
- ◇生徒数: 413人（中学合計）
- ◇偏差値: 四谷大塚…45~51 首都圏模試…55~66
- ◇卒業後の進路: 大学86%、短大・専門学校2%、就職2%、その他10%



▼入試情報

- ◇入試日: 2月1日午前・午後、2月2日午前・午後、2月4日 ※特待生制度あり

▼説明会・公開行事等

- ◇説明会: 12月21日（日）、1月18日（日）
- ◇体育祭: 6月 ◇文化祭: 9月

入試情報（高校）



R7年度 進路希望調査から見る近隣校の動向

10月20日時点の進路希望調査が公表されました。この時期の数値はあくまで「志望傾向」であり、入試倍率とは一致しません。しかし大きな流れや学校ごとの人気の変化を読み取るうえでは重要な資料です。今回は調査結果から近隣校の傾向を簡単に整理します。

■進路希望調査（10月20日時点）※神奈川県Webサイトより

R6年度

	進路希望調査	入試倍率
港北	1.40	1.31
横浜翠嵐	2.53	1.89
横浜平沼	1.39	1.30
新城	2.41	1.78
住吉	1.58	1.44
橋	2.60	1.52
多摩	2.34	1.61
生田	1.29	1.16
高津	1.71	1.22
YSFH	1.75	1.47

R7年度

進路希望調査	入試倍率
1.42	?
2.50	?
1.54	?
2.54	?
1.53	?
2.38	?
2.05	?
1.16	?
1.70	?
1.72	?

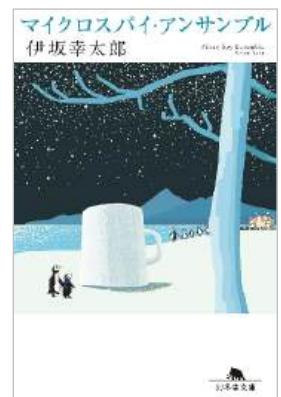
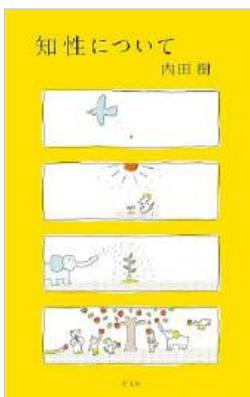


ヘリオスの生徒に人気の高い新城と橋は、依然として注目校です。校風・立地は重なる点があるため「どちらも気に入っている」という生徒が多くなるのが特徴です。一方、入試の性質は大きく異なります。新城は高い学力と内申の双方が求められ、橋は面接を実施するため学校理解や姿勢が重視される傾向があります。倍率や偏差値を総合すると新城のほうがやや難度が高いといえますが、橋も中堅上位校として意欲の高い受験生が多く競います。

中1・中2のみなさんへ。高校入試はまだ先の話で、実感がわきにくいのは当然です。「偏差値〇〇を目指す」という目標も大切ですが、偏差値は今の取り組みの「結果」として表れる指標にすぎません。大切なのは、すぐ目の前のこと努力することです。定期テストや検定、学力テストなど、次にやるべきことは必ずあります。まずはそこに集中しましょう。

最後に、中3クラスに伝えた言葉を紹介します。「合格」は「格に合う」と書きます。志望校に見合う努力と姿勢を備えてこそ、その校名を名乗る資格が生まれます。もし「まだ余力がある」と自覚しながら本気を出し切れていないのであれば、その高校を軽く見ていることになります。余力は悔いにつながります。残り2か月、胸を張って受験日を迎えるよう、全力を尽くしていきましょう。（岸）

世界を広げるブックリスト ~陽光ライブラリー新着本~



『バルティータを鳴らすまで』 せやま南天／著

実母と離れて弦楽器職人の里父のもとで育った中学2年の拓実。委託期間を終えて実母の家へ戻る日が迫る。別れが来ると知っていた彼は、バイオリンを弾きながら淡々と日々を過ごしてきたが……。音楽が導く、半年間の愛の物語。

『花売り姫』 長谷川まりる／著

不思議な花畠の主である「ひい」という女性と仲良くなつた梓未（あずみ）だが、次第にひいの態度が変わっていき……。「本当に嫌いなもの」「本当に好きなもの」「本当に大切なものの」を問う、不思議で美しい物語。

『生きる言葉』 俵万智／著

スマホとネットが日常の一部となり、顔の見えない人ともコミュニケーションできる現代社会。言葉の力が生きる力とも言える時代における様々なシーンでの言葉のつかい方を、歌人ならではの視点で実体験をふまえて考察する。

『知性について』 内田樹／著

「なんのために勉強するの？」「考えるって、意味あること？」そんな素朴な問いに、正面から向き合ってくれる本があります。学校でもSNSでも教えてくれない「知性」の正体を、わかりやすく、そして深く語ってくれる一冊。

『武士と忍者の戦い図鑑』 小和田哲男・山田雄司／監修

本書では武士と忍者にスポットを当て、彼らの実態や振る舞いをイラストを用いて丁寧に紐解いていく。ある特定の分野に詳しいことを「通」というが、本書を読めば、戦国時代の「通」になれること請け合いである。

『マイクロスパイ・アンサンブル』 伊坂幸太郎／著

見えていることだけが全てじゃない。知らないうちに誰かを助けていたり、誰かに助けられたり。会社員の日常とスパイ活動が交錯する、優しさと驚きに満ちた現代版おとぎ話。7年分の連作短編が満を持して文庫化！

ヒューマンキッズサイエンス：ロボット教室（小学生）



11月のベーシックは「ベイスピナー」を製作しました。ギアの歯数の違いを工夫することで、高速回転する発射台が完成。スタジアムも登場し、白熱した試合が繰り広げられました。

ミドルは「ヤジロボベエ」を製作。まずはロープウェイ型、続いてヤジロベエ型と難易度がアップしましたが、試行錯誤しながら完成させる姿がとても印象的でした。

アドバンスは「ドレミボット」です。木琴を叩く動作と連動して設定した音階を鳴らします。「この曲をやってみたい！」と自ら楽譜を探してプログラミングする子もいました。

プログラミングは手本通りだけでなく、自分で考えて実際に動かしながら工夫することで力になります。ご家庭でもオリジナルのプログラミングを楽しんでみてください。（本山）

12月製作ロボット紹介

▼ベーシック…高い所もへっちゃら「ロボモンキー」



左右の腕を交互に動かしてロープを渡っていく手長ザルロボットです。基本製作ではゆっくり確実に進みますが、腕の長さを変えたりギアの組み合わせを変えたり改造することで、より速くロープを渡れるようになります。

▼ミドル…ふり子時計マシン「チクタクロック」



振り子の等時性を観察しながら学習し、針の進み方を制御する「脱進機」の原理を理解していきます。またプログラミングによって針を一定に動かし、アラームを鳴らすロボットに改造します。

▼アドバンス…二足歩行ロボ「アルケンダーゼ」（前半）



左右に重心移動しながら絶妙なバランスをとって二足歩行します。足の裏に取り付けたタッチスイッチで足が床に着いたことを感知。重心移動の際にモーターの出力や時間を調整し、下半身と連動させるのがポイントです。

■作品紹介（11月）



ベーシックコース
「最強のコマはどれだ！」



ミドルコース
「上手く渡れるかな？」



アドバンスコース
「好きな曲を演奏してみよう！」

◆授業スケジュール（12月～1月）

- ・R1(第二・四/土 10:40～) 12/13(土)、20(土) 1/10(土)、24(土)
- ・R2(第二・四/土 13:00～) 12/13(土)、20(土) 1/10(土)、24(土)
- ・R3(第一・三/土 10:40～) 12/6(土)、20(土) 1/10(土)、17(土)
- ・R4(第二・四/火 16:20～) 12/9(火)、16(火) 1/13(火)、27(火)
- ・R5(第一・三/火 16:20～) 12/2(火)、16(火) 1/13(火)、20(火)

※色付きの日程は休みの関係で授業日が変更になります。月内であれば振替が可能ですのでお電話またはメールにてご連絡ください。

スタッフ四方山（よもやま）話



休日は5歳の娘から公園での鬼ごっこに誘われます。とはいえるが寒さが厳しい日はどうしても家でゆっくり過ごしたくなり…そんな時は「お菓子作りをしよう！」と提案するのが定番です笑。先日は娘の大好きなポン・デ・リングをイメージして、親子でドーナツ作りに挑戦しました。包丁も使いたがるので、手を添えながらひとつ通りの工程を体験させます。手作りの達成感は大きいようで、「完成！」と満面の笑みで家族にお披露目していました。見た目はあと一歩のところもありつつ、味はしっかり合格点。もう少しカラッと揚がれば花丸です。次は揚げ物用の温度計を用意して、本格的にチャレンジしてみようと思います。（池田）



隠し味のお餅で再現度アップです



今回はわが家のコストコ定番購入品のご紹介です。キャンプのたびに必ず買うのは、ビールサーバーと牛タン（またはハラミ）の塊肉。うまく注げなかったり、食べすぎてアゴが疲れたり…それでも見るとつい買ってしまう「テンション爆上がり」アイテムです笑。サーモンと赤エビもほぼ毎回購入。結局いつも刺身かカルパッチョになっています。普段の買い物ではデリ系が定番。麺・お寿司・デザートは高確率でカゴの中へ。最近のお気に入りはカスタードクロワッサンです。帰りはフードコートのホットドッグとチキンステイックで締め。今回は食べ物ばかりでしたが、日用品もいろいろ買っているので、またご紹介します！（吉村）



食べ始めると手が止まらないコストコのチキンステイック



山崎少年が小学2年生だったある日のこと。母に連れられて近くのママ友の家へ遊びに行きました。子どもは僕ひとりだったのでまったく楽しくありません。すると、ひとりだけ別の部屋に通されました。そこには大きなグランドピアノが。ママ友に「はい、そこに座って。手を鍵盤の上にのせて～」と言われ、突然レッスンが始まりました。そのとき今日の目的がピアノのレッスンだと知ったのです。

1時間ほど弾かされ、帰り道で思わず叫びました。「今日は本当に嫌だった！もうこんなことしないで！」申し訳なさそうな、そして少しがっかりした表情の母。おそらく自分では叶えられなかったピアノへの思いを、僕に重ねていたのではないかと思います。結局、ピアノのレッスンは一日きりで終わりました。（山崎）



ピアノを見ると、あの日のことを思い出します

知っていると
得をする、かも。

今月の雑学
コレクション



- チョウは葉っぱの表面を足でたたいて味を確かめている。
- 世界で一番長い階段はスイスの山にある1万1674段。
- ホッキョクグマの肌の色は、太陽の熱を効率良く吸収して寒さから体を守るために黒い。

◆編集後記：ここまで努力を積み重ねてきた受験生のみなさん、そしてその歩みを支えてこられた保護者の皆さん、本当に疲れさまでした。年が明ければ、いよいよ本番です。不安や緊張を力に変えられるように寄り添いながら、受験が終わるその日までいっしょに走り抜けてまいります。（菅野）

◆ 今月のワン！フレーズ



Rules are not meant to restrict us, but to protect us.

「ルールは私たちを縛るためにではなく、守るためにある」（ジョン・ウッデン／バスケットボール指導者）